

平成十八年度文化庁芸術祭参加／二〇一七年ロシア「アルレキン人形劇フェスティバル」音楽構成賞受賞

劇×邦楽
人形

鬼やめどき

題字・木村雪苑

原作・監修・補訂 さねとうあきら

「ゆきこんこん物語」所載
「おにひめさま」(理論社刊)より

脚本・演出・出演 山根 宏章

百年経っても
まだ生きつづく
壮絶な女の生き様
こころの闇を
笛が裂き
三弦が震え
人形が狂い
身悶え
清澄な地唄が
ただただ語る

人形と邦楽の競演で紡ぐ
さねとうあきら 創作民話の世界。

2018 9/30 日 11:00/15:30 開演

川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1

前売 4,800円 ペア券(2人セット) 8,900円

当日 5,200円 (全席指定)

<http://pup-popolo.co.jp/oni/>

邦楽演奏

地唄・三弦
鼓、太鼓他
篠笛・能管

仲林 光子
吉口 克彰
仲林 利恵

人形国和



子どものための読み物
「ゆきこんこん物語」の
一つでありながら
おとなの心を深くえぐって
描かれたこの物語を、
三人の邦楽家の
熟達した芸とともに
ポポロの総力を結集して
作者の思いを最高の形で
具現化いたします。

あらすじ

美しいが、うぬぼれが強く、
わがままな桜姫。
冬のさなかに
お興入れすることに。
雪降りしきる峠道…
鬼が住むという鬼きり峠に
差しかったところで、
「雪崩だあーっ」
姫は雪に
のまれてしまう…
「人と思えば人となり、
鬼と思えば鬼となる。
すべてはお前の
心次第だな」
恐怖の中で姫の心が
メラメラともえて…

鬼ひめ哀話

1990年に初演し、以降再演を重ねてきた
人形劇団ポポロの代表作です。
原作のさねとうあきら先生には、
原作者としてだけでなく、脚本の補訂や
演出として、作品に関わっていただきました。

原作監修補訂 さねとう あきら

日本の児童文学作家・劇作家。「地べたっこさま」「ジャンボコッ
コの伝記」「おこしゅうり」「かっぱのめだま」「ゆきこん
こん物語」などの創作・評論多数。

ポポロでは先生原作で「鬼ひめ哀話」「鬼笛」を上演。その際は
演出・監修・補訂を、劇団四十周年記念公演「耳なし芳一」では
演出をお願いしました。

人形劇団ポポロ代表 山根 宏章

脚本・演出・演技 1972年7月
ポポロ設立。毎年新作発表公演
を行い現在に至る。1984年N
HK連続人形劇「ひげよさらば」
でヨーロッパを演じた。
人形劇人協会・日本ウニマ会
員。日本児童演劇協会会員 他。
2014年「日本児童青少年演
劇協会賞」を、2017年「第33回
日本舞台芸術家組合賞」を受賞。



2007年「鬼ひめ哀話」のカーテンコール
さねとう先生と
山根代表

邦楽と人形劇の競演

この舞台のためのオリジナルの邦楽を、
いろいろな和楽器の生演奏によって、人形芝居と
邦楽が、舞台の進行やお客様の反応をうけて
時にせめぎ合い、時に助け合いながら
豊潤な舞台を創り上げます。

地唄三弦 仲林 光子

箏曲七声楽院を娘・利恵氏と主宰し、邦楽演奏と指導を全国
規模で展開。みさと笛尺八のオリジナル作品や、藤原琵琶の
語り物として、笛、箏、三弦、鳴り物を組み込んだ創作琵琶語
りにも取り組んでいる。

鼓、太鼓他 吉口 克彰

自ら考案した打楽器「琉水鉦」をはじめ、各種打楽器を用いて
演奏。ジャンルにとらわれず、様々なアーティストと協演を重
ねる。ギタリスト小馬崎達也氏が主宰するグループ「パンゲ
ア」で活動中。

篠笛・能笛 仲林 利恵

琵琶語りと笛、箏などの和楽器をより多くの人達に親しんで
いたためよう活動。後進の指導にも尽力している。ギタリス
ト小馬崎達也氏が主宰するグループ「パンゲア」での演奏や、
和太鼓グループ「梵天」のゲストプレイヤーとして活動中。



2017年、ロシア・オムスク 国際人形劇フェスティバル で音楽構成賞を受賞

世界各国から集まった参加者の前で、
日本語で上演しました。2ステージと
ともに沸き起こるスタンディングオー
ベーションに一同大感動！多くのメ
ディアにも取材されました。また、邦楽生
演奏の素晴らしさが認められ、音楽構成
賞を受賞することができました。

主催：人形劇団ポポロ 後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

お問い合わせ
チケットのお申込みは

人形劇団ポポロ

TEL.042-344-3389(代)

〒189-0012 東京都東村山市萩山町1-8-39
FAX.042-346-6118 E-mail: pupetpop@pup-popolo.co.jp

